

実践記録

学校/学年	小学校 / 3 年	
教科等：単元名	学級活動：「私は、書いていない」	
キーワード	掲示板 なりすまし	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e 2：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-1：情報には誤ったものもあることに気づく e2-2：個人の情報は、他人にもらさない
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	ネット上では、どんな人にもなりすますることができ、書いてあることを全て鵜呑みにしてはいけないことがわかる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶN e t モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 どうして間違った情報が掲示板に流れたのか考える。	・みかさんのうそではなく、誰かがなりすましたことを確認する。
展 開	2 掲示板を信じて運動場に集合した子どもたちの気持ちを考える。 3 名前をかたられたみかさんの気持ちを話し合う。	・集まった人の気持ちを具体的に考えさせる。 ・なりすましは、両者を傷つけてしまうことに気づかせていく。
お わ り	4 掲示板などの利用で気をつけなければならないことをまとめる。	ネット上の情報を鵜呑みにしないことと、正確な情報を発信することの大切さがわかったか。

○授業の成果

- ・掲示板の経験が少ない3年生でも、「なりすまし」が多くの人を傷つけてしまうことがわかった。
- ・普段の生活にも友だちの悪口を書くなど、なりすましに似た行為があることに気づけた。

○指導のポイント・留意点

- ・キーシーンを掲示して、自分の立場でワークシートを記入させるとよい。